

2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月12日

上場会社名 日本ロジテム株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9060 URL http://www.logitem.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中西 弘毅
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員経理部長 (氏名) 川口 要 TEL 03-3433-6711
 四半期報告書提出予定日 2020年11月12日 配当支払開始予定日 2020年12月10日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	26,340	1.6	333	△33.6	346	△33.0	194	△4.3
2020年3月期第2四半期	25,930	8.2	502	—	516	—	202	—

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 96百万円 (136.4%) 2020年3月期第2四半期 40百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	141.88	—
2020年3月期第2四半期	148.19	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	38,898	11,232	28.6	8,129.93
2020年3月期	38,230	11,190	29.0	8,100.14

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 11,124百万円 2020年3月期 11,084百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	40.00	—	40.00	80.00
2021年3月期	—	40.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	51,500	△2.4	700	△37.1	670	△45.3	400	△34.7	292.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	1,383,310株	2020年3月期	1,383,310株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	14,967株	2020年3月期	14,922株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	1,368,348株	2020年3月期2Q	1,368,401株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

決算説明資料については、当社ウェブサイトにて11月下旬頃、掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により景気が悪化し、厳しい状況が続きました。緊急事態宣言解除後は、社会経済活動の正常化が段階的に進み、景気を持ち直しが期待される一方で、感染症の再拡大に対する懸念が高まるなど、先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループが属する物流業界につきましては、「巣ごもり需要」などにより一部企業の荷動きが比較的好調であったものの、生産活動の停滞や個人消費の落ち込み等により、取扱数量は総じて低調となるなど、取り巻く環境は厳しいものでありました。

このような状況の中、当社グループは、社会情勢の急激な変化に対応しながら、新たな中期経営計画（2020年度から2022年度まで）においてテーマとした「強固な収益基盤づくり」および「環境変化に適應できる体制づくり」に取り組んでまいりました。

国内につきましては、通販関連をはじめ得意先との取引深耕に注力し営業拡大を図るとともに、前連結会計年度に開設した拠点の安定稼働に取り組みました。また、新たな営業展開に向け、埼玉県坂戸市および神奈川県平塚市に開設を予定する新拠点の準備を進めました。さらに、新設した「AI・IoT推進課」が中心となり、物流事業の省人化・効率化に資する先端技術の活用を検討いたしました。

海外につきましては、ベトナムにおいて、ホーチミン市近郊に建設した新倉庫に既存倉庫の機能を集約し、南部エリアの体制整備を進めました。また、タイにおいて新拠点が稼働を開始するなど、各進出国での営業活動を推進いたしました。

これらの取り組みにより、営業収益は、感染症の影響による海外事業の停滞、インテリアやアパレル等の荷動き低下があったものの、通販関連の取扱量が増加したこと、新規得意先の業務開始等によりアセット事業が拡大したことなどから、増収となりました。一方、営業利益および経常利益は、センター事業において流通加工業務の減少等により損失となったほか、海外において営業収益の減少に伴い利益が縮小したこと、さらに感染症対策に関連する費用が発生したことなどから、減益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、減損損失を計上した前年同期と比べ特別損失が減少したものの、経常利益の減少に伴い減益となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の営業収益は263億40百万円（前年同期比1.6%増）、営業利益は3億33百万円（前年同期比33.6%減）、経常利益は3億46百万円（前年同期比33.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億94百万円（前年同期比4.3%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①貨物自動車運送事業

需要の拡大により食品や通販関連の輸送量が増加したことに加えて、料金適正化への取り組みが進捗したこと、配送効率向上を進めた効果があったことなどから、増収増益となりました。

その結果、営業収益は、112億85百万円（前年同期比1.2%増）、セグメント利益は、8億2百万円（同17.9%増）となりました。

当事業の営業収益は、当社グループ営業収益全体の42.9%を占めております。

②センター事業

営業収益につきましては、通販関連の取り扱いが伸長し入出荷量が増加したことなどから、増収となりました。セグメント利益につきましては、インテリアやアパレルの低調な荷動きを受け流通加工業務が減少したこと、一部の得意先において取扱品目の構成が変更となり作業効率が低下したことなどから、損失となりました。

その結果、営業収益は、60億29百万円（前年同期比0.6%増）、セグメント損失は、1億9百万円（前年同期はセグメント利益2億55百万円）となりました。

当事業の営業収益は、当社グループ営業収益全体の22.9%を占めております。

③アセット事業

通販関連の保管面積が拡大したほか、前連結会計年度に開設した拠点を中心に新規得意先の保管業務等を開始したこと、ベトナムにおいて自社倉庫の稼働開始によるコスト削減効果があったことなどから、増収増益となりました。

その結果、営業収益は、62億75百万円（前年同期比8.1%増）、セグメント利益は、5億93百万円（同7.0%増）となりました。

当事業の営業収益は、当社グループ営業収益全体の23.8%を占めております。

④その他事業

国際貨物の荷動き停滞に伴い国内外で輸出入関連事業が縮小したほか、施工関連事業および海外における旅客自動車運送事業が低調な推移となったことなどから、減収減益となりました。

その結果、営業収益は、27億49百万円（前年同期比7.6%減）、セグメント利益は、2億88百万円（同2.6%減）となりました。

当事業の営業収益は、当社グループ営業収益全体の10.4%を占めております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて1百万円減少し、122億35百万円となりました。固定資産は前連結会計年度末に比べて、建物及び構築物（純額）が5億2百万円、敷金及び保証金が2億9百万円増加したこと等により6億69百万円増加し、266億63百万円となりました。この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて6億68百万円増加し、388億98百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて、営業未払金が3億30百万円減少したこと等により3億95百万円減少し、131億51百万円となりました。固定負債は、前連結会計年度末に比べて、長期借入金が9億79百万円増加したこと等により10億22百万円増加し、145億14百万円となりました。この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて6億26百万円増加し、276億65百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて、利益剰余金が1億39百万円増加したものの、為替換算調整勘定が85百万円減少したこと等により41百万円増加し、112億32百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は28億円となり、前連結会計年度末と比較して、2億57百万円の資金の減少（前年同期は2億5百万円の資金の増加）となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、減価償却費が8億97百万円あったものの、仕入債務の減少額が3億17百万円、法人税等の支払額が3億29百万円あったこと等により、1億89百万円の資金の増加（前年同期は10億69百万円の資金の増加）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出が9億4百万円、敷金及び保証金の差入による支出が2億32百万円あったこと等により、11億2百万円の資金の減少（前年同期は5億72百万円の資金の減少）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入が31億87百万円あったものの、長期借入金の返済による支出が19億92百万円、リース債務の返済による支出が4億33百万円あったこと等により、6億85百万円の資金の増加（前年同期は2億52百万円の資金の減少）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想につきましては、現時点では業績が概ね想定どおりに推移しており、2020年8月7日に公表いたしました予想値の修正はございません。

今後、修正が必要と判断した場合には、速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,743,062	3,431,243
受取手形及び営業未収入金	6,926,764	6,811,263
その他	1,568,407	1,993,688
貸倒引当金	△1,172	△855
流動資産合計	12,237,061	12,235,339
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,548,736	4,050,829
土地	6,466,972	6,516,130
リース資産(純額)	5,041,572	5,073,783
その他(純額)	1,739,359	1,676,066
有形固定資産合計	16,796,641	17,316,811
無形固定資産	972,298	970,793
投資その他の資産		
敷金及び保証金	5,849,518	6,058,891
その他	2,453,457	2,392,682
貸倒引当金	△78,492	△75,945
投資その他の資産合計	8,224,483	8,375,628
固定資産合計	25,993,422	26,663,232
資産合計	38,230,484	38,898,572
負債の部		
流動負債		
営業未払金	3,017,334	2,686,738
短期借入金	6,598,191	6,778,203
賞与引当金	370,136	421,396
その他	3,562,215	3,265,636
流動負債合計	13,547,878	13,151,975
固定負債		
長期借入金	6,720,929	7,700,659
リース債務	4,699,309	4,689,211
役員退職慰労引当金	198,239	205,934
退職給付に係る負債	204,332	222,592
その他	1,668,948	1,695,614
固定負債合計	13,491,758	14,514,013
負債合計	27,039,637	27,665,988
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,145,955	3,145,955
資本剰余金	3,190,072	3,190,072
利益剰余金	5,222,449	5,361,860
自己株式	△37,283	△37,498
株主資本合計	11,521,193	11,660,388
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	43,234	38,412
為替換算調整勘定	△543,243	△628,957
退職給付に係る調整累計額	62,948	54,692
その他の包括利益累計額合計	△437,060	△535,852
非支配株主持分	106,714	108,047
純資産合計	11,190,846	11,232,583
負債純資産合計	38,230,484	38,898,572

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業収益	25,930,537	26,340,286
営業原価	24,141,219	24,763,819
営業総利益	1,789,318	1,576,466
販売費及び一般管理費		
人件費	801,372	800,970
その他	485,575	441,838
販売費及び一般管理費合計	1,286,947	1,242,808
営業利益	502,370	333,658
営業外収益		
受取利息	14,791	10,331
受取配当金	5,040	5,027
受取手数料	8,303	5,612
受取保険金	5,056	10,429
持分法による投資利益	16,004	28,855
物品売却益	-	9,102
その他	40,044	21,535
営業外収益合計	89,241	90,894
営業外費用		
支払利息	68,500	72,369
為替差損	1,214	2,251
その他	4,937	3,715
営業外費用合計	74,652	78,336
経常利益	516,959	346,216
特別利益		
固定資産売却益	86,339	29,164
受取損害賠償金	-	7,129
特別利益合計	86,339	36,293
特別損失		
固定資産除売却損	151	1,304
投資有価証券評価損	-	12,500
減損損失	191,442	-
特別損失合計	191,593	13,804
税金等調整前四半期純利益	411,704	368,706
法人税、住民税及び事業税	188,182	139,615
法人税等調整額	16,295	34,219
法人税等合計	204,478	173,834
四半期純利益	207,226	194,871
非支配株主に帰属する四半期純利益	4,444	725
親会社株主に帰属する四半期純利益	202,782	194,146

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	207,226	194,871
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13,798	△4,813
為替換算調整勘定	△120,290	△78,453
退職給付に係る調整額	△21,151	△8,255
持分法適用会社に対する持分相当額	△11,090	△6,661
その他の包括利益合計	△166,331	△98,184
四半期包括利益	40,894	96,687
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	46,215	95,354
非支配株主に係る四半期包括利益	△5,320	1,333

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	411,704	368,706
減価償却費	847,487	897,249
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△638	△2,864
賞与引当金の増減額 (△は減少)	39,705	51,602
退職給付に係る資産負債の増減額 (△は減少)	△52,708	12,298
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	12,271	7,695
受取利息及び受取配当金	△19,831	△15,359
支払利息	68,500	72,369
減損損失	191,442	—
有形固定資産除売却損益 (△は益)	△86,188	△27,859
受取損害賠償金	—	△7,129
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	12,500
売上債権の増減額 (△は増加)	117,192	92,825
未払又は未収消費税等の増減額	△127,181	△113,903
仕入債務の増減額 (△は減少)	27,349	△317,161
その他	△196,897	△460,492
小計	1,232,208	570,475
利息及び配当金の受取額	25,946	21,849
利息の支払額	△70,885	△73,590
法人税等の支払額	△117,527	△329,258
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,069,741	189,475
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	△6,436	53,574
有形固定資産の取得による支出	△842,000	△904,773
有形固定資産の売却による収入	544,917	37,786
無形固定資産の取得による支出	△38,353	△30,765
敷金及び保証金の差入による支出	△248,590	△232,912
その他	17,475	△25,427
投資活動によるキャッシュ・フロー	△572,986	△1,102,517
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△24,360	△20,520
長期借入れによる収入	2,065,347	3,187,059
長期借入金の返済による支出	△1,826,332	△1,992,796
リース債務の返済による支出	△412,334	△433,382
自己株式の取得による支出	—	△215
配当金の支払額	△54,705	△54,677
財務活動によるキャッシュ・フロー	△252,385	685,468
現金及び現金同等物に係る換算差額	△39,146	△30,083
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	205,221	△257,657
現金及び現金同等物の期首残高	2,781,625	3,058,448
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,986,847	2,800,790

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 3
	貨物自動車 運送事業	センター事業	アセット事業	計				
営業収益								
外部顧客への営業収益	11,154,379	5,995,157	5,803,572	22,953,109	2,977,427	25,930,537	-	25,930,537
セグメント間の内部収益 又は振替高	-	-	12,939	12,939	-	12,939	△12,939	-
計	11,154,379	5,995,157	5,816,511	22,966,048	2,977,427	25,943,476	△12,939	25,930,537
セグメント利益	680,999	255,926	554,822	1,491,748	296,719	1,788,468	△1,286,097	502,370

(注) 1. 「その他事業」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、報告セグメントに関連する事業(引越移転事業、施工関連事業、輸出入貨物取扱事業、通関事業、港湾関連事業、労働者派遣事業、損害保険代理業、物品販売業、総合リース業、旅客自動車運送事業等)であります。

2. セグメント利益の調整額△1,286,097千円は、セグメント間取引消去及び各セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に各セグメントに帰属しない総務、人事、経理等管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「センター事業」および「アセット事業」セグメントの事業用資産について、収益性の低下により投資額の回収が見込めなくなったため、事業用資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては「センター事業」セグメントが1,722千円、「アセット事業」セグメントが189,720千円であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 3
	貨物自動車 運送事業	センター事業	アセット事業	計				
営業収益								
外部顧客への営業収益	11,285,956	6,029,562	6,275,047	23,590,566	2,749,719	26,340,286	-	26,340,286
セグメント間の内部収益 又は振替高	-	-	13,929	13,929	-	13,929	△13,929	-
計	11,285,956	6,029,562	6,288,976	23,604,495	2,749,719	26,354,215	△13,929	26,340,286
セグメント利益又は損失 (△)	802,579	△109,119	593,385	1,286,844	288,928	1,575,773	△1,242,114	333,658

(注) 1. 「その他事業」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、報告セグメントに関連する事業(引越移転事業、施工関連事業、輸出入貨物取扱事業、通関事業、港湾関連事業、労働者派遣事業、物品販売業、総合リース業、旅客自動車運送事業等)であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,242,114千円は、セグメント間取引消去及び各セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に各セグメントに帰属しない総務、人事、経理等管理部門に係る費用であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。